

# 第46回放送教育研究会 四国大会香川大会

(一次案内)

大会研究主題

主体的に学び、生きる力をはぐくむ、新しい放送教育を創造しよう

日時 平成22年11月11日(木)

場所 香川県坂出市

## 幼稚園・保育所部会

会場校 坂出市立松山幼稚園

〒762-0017 坂出市高屋町1101番地3

研究主題 「豊かな感性を培い、いきいきと生活を広げていくための放送教育を進めよう  
～みて 感じて 考えて つながる力をはぐくむための 放送利用の在り方を考える～」

## 小学校部会

会場校 坂出市立東部小学校

〒762-0007 坂出市室町一丁目1番21号

HPアドレス <http://www.sakaide.ed.jp/tobu>

研究主題 「生き生きと自ら学ぶ児童の育成  
～学ぶ力を高めるための効果的なICT活用～」

## 中学校部会

会場校 坂出市立東部中学校

〒762-0003 坂出市久米町二丁目7番46号

HPアドレス <http://www.sakaide.ed.jp/tobu-jh/index.html>

研究主題 「自ら学び、自ら考え行動する生徒の育成  
～メディア教材の積極的な活用を通して～」

## 高等学校部会

会場校 香川県立坂出高等学校

〒762-0031 坂出市文京町二丁目1番5号

HPアドレス <http://www.ed.kagawa-edu.jp/sakadh01/>

研究主題 「自ら学び考える確かな学力をもった生徒の育成  
～学ぶ意欲を高める情報メディアの活用～」

## 特別支援学校部会

会場校 香川大学教育学部附属特別支援学校

〒762-0024 坂出市府中町字綾坂889番地

HPアドレス <http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/~tokusi/index.html>

研究主題 「主体的に学ぶ意欲をはぐくむ放送教育の有効活用を探る  
～受容から表出への環境設定の工夫～」

## 全体会場

会場校 坂出市立東部小学校

全体会

講演

「演題未定」

講師 未定

- 主催 全国放送教育研究会連盟・四国地方放送教育研究協議会・香川県メディア教育連絡協議会・NHK高松放送局  
香川県幼稚園教育研究会視聴覚教育研究部会・香川県小学校教育研究会メディア教育部会・香川県中学校教育研究会メディア教育研究部会  
香川県高等学校教育研究会メディア部会・香川県高等学校教育研究会特別支援教育部会メディア教育部会
- 共催 香川県幼稚園教育研究会・香川県小学校教育研究会・香川県中学校教育研究会・香川県高等学校教育研究会
- 後援 香川県教育委員会・坂出市教育委員会・徳島県教育委員会・高知県教育委員会・愛媛県教育委員会・香川県市町教育委員会連絡協議会  
香川県国公立幼稚園園長会・香川県小学校長会・香川県中学校長会・香川県高等学校長協会

(一部申請中)

## 大会研究主題

「主体的に学び、生きる力をはぐくむ、新しい放送教育を創造しよう」

### 1 大会研究主題設定にあたって

21世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われている。このような知識基盤社会化やグローバル化に対応するため、子どもたちには、一人一人が自らの個性を発揮し、困難な場面に出会っても積極的に立ち向かい、未来を切り拓いていく力が求められている。このために必要となるのは、自ら学び自ら考える力も含めた「確かな学力」、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな人間性」、たくましく生きるための「健康や体力」、そして、これらによって支えられる「生きる力」である。

「確かな学力」の定着を図るためには、知識や技能の習得はもちろん、学び方や学ぶ意欲、問題発見力や問題解決力等の資質や能力を育成することが求められる。また、「豊かな人間性」を高めるためには、美しいものへの感動や喜び悲しみ等の他者との共有を通して豊かな感性をはぐくんだり、自ら学ぶ喜びを体感させたりして、よりよい人格の形成を図っていくことが一層重要になる。

子どもたちの「生きる力」は、学校だけでなく、家庭や地域と一緒にってはぐくむものであり、これからの生涯学習社会の中で、社会に出た後も学び続けることができる基礎的な資質や能力をはぐくむことが重要である。

私たちが進める放送教育は、これまでも子どもたちの「生きる力」をはぐくむために優れた研究と実践を積み重ねてきた。なかでも、放送番組を視聴したときの感動や驚きは、子どもたちの学習活動に対する意欲を高め、主体的に学び合う子どもたちのものの見方や考え方を広げ深めている。また、放送教育の媒体となる動画、画像、文字情報等のデジタルコンテンツは子どもたちの情報活用能力等を高める上でも大いに役立ってきた。

そこで、本研究では、放送教育の積極的な活用を図ることにより、主体的に学び、生きる力をはぐくむ放送教育の新たな役割や可能性を追求したいと考え、本研究主題を設定した。

### 2 大会研究主題の解説

本県においては今まで、現行教育課程に基づく学習指導要領の実施にあわせ、各学校等では基礎・基本の定着に向け取り組むとともに、地域の実態に応じて総合的な学習の時間の実践や教科・領域における体験学習の積極的な導入等を通じて、自ら学び、考え、主体的に解決する力等の生きる力を育てることに取り組んできた。

そして、それにあわせ、本県の放送教育も、平成14年度の四国大会で「豊かな心を育み生きる力を培う放送・視聴覚教育の在り方を追究しよう。」を研究主題として掲げ、研究実践を進めてきた。

こうした中、平成21年度に新幼稚園教育要領が、平成23年度に小学校、平成24年度に中学校、平成25年度には高等学校において、新学習指導要領が完全実施（特別支援学校においても同時期）される。それにともない、教室のメディア環境も平成23年には地上デジタル放送への完全転換が予定されるとともに放送とコンピュータネットワークとの連携や融合が急速に進むなど、放送教育も新たな段階を迎えようとしている。

ネットワーク化・デジタル化の進展により、インターネット、デジタル放送、携帯端末などの情報メディアが、子どもたちの生活に大きな影響を及ぼすようになってきている。こうした時代の要請の中であって、全国放送教育研究会連盟は、平成20年度より「放送学習による人間力育成プロジェクト」をスタートさせた。

この中で、放送学習においては、子どもたちの知的・能力的、自己制御的、社会・対人関係的要素の3つが「生きる力」を構成し、生きる力は、身体・体力的要素と結びつき、「人間力」として充実すると考えられている。

今後は、従来からの放送番組を中心とする教育メディアの特性をさらに追究することに加えて、めざましく進化を続けるICT、つまり情報機器やネットワークを生かした映像・音声のデータベースの活用についても研究を深め、それぞれの特性を生かして効果的な活用を図りたい。また、情報の送受信によるコミュニケーション活動や創造性に富んだ制作活動を通じて、子どもたちの自己表現や人間関係形成等の力を育てたい。

そして本大会では、これまでに積み重ねてきた本県の放送教育の成果を踏まえ、デジタル化時代の新しい放送教育の在り方を創造し、これからの社会を担っていく人間としての「生きる力」をさらにはぐくんでいきたい。